



# 環境マネジメント レポート

あなぶきエンタープライズ 公民連携（PPP）事業部  
活動期間 2022年4月～2023年3月



# 環境経営方針

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

## 1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。

お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。

## 2. 廃棄物の適正処理と削減に取り組めます。

(1) 3Rを推進し、廃棄物の削減を目指します。

※ 3R (Reduce:発生抑制 Reuse:再使用 Recycle:再資源化)

(2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。

## 3. SDGsの理念を尊重し事業活動と社会貢献活動を通じて、その目標達成に貢献します。

## 4. 法令を遵守します。

環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。

## 5. 啓発活動の推進

全スタッフへ環境に関する教育を行い、社会の環境意識の向上を図ります。

# ISO14001 適用範囲

## 1. 適用範囲（事業所名）

穴吹エンタープライズ株式会社 公民連携（PPP）事業部

## 2. 所在地

香川県高松市福田町11番地 1

## 3. 適用範囲で行われる事業

指定管理者事業

## 4. 業務内容

指定管理者制度に基づき、地方自治体より委託された公共施設の管理運営を行う

## 5. 適用範囲（2023年3月現在）

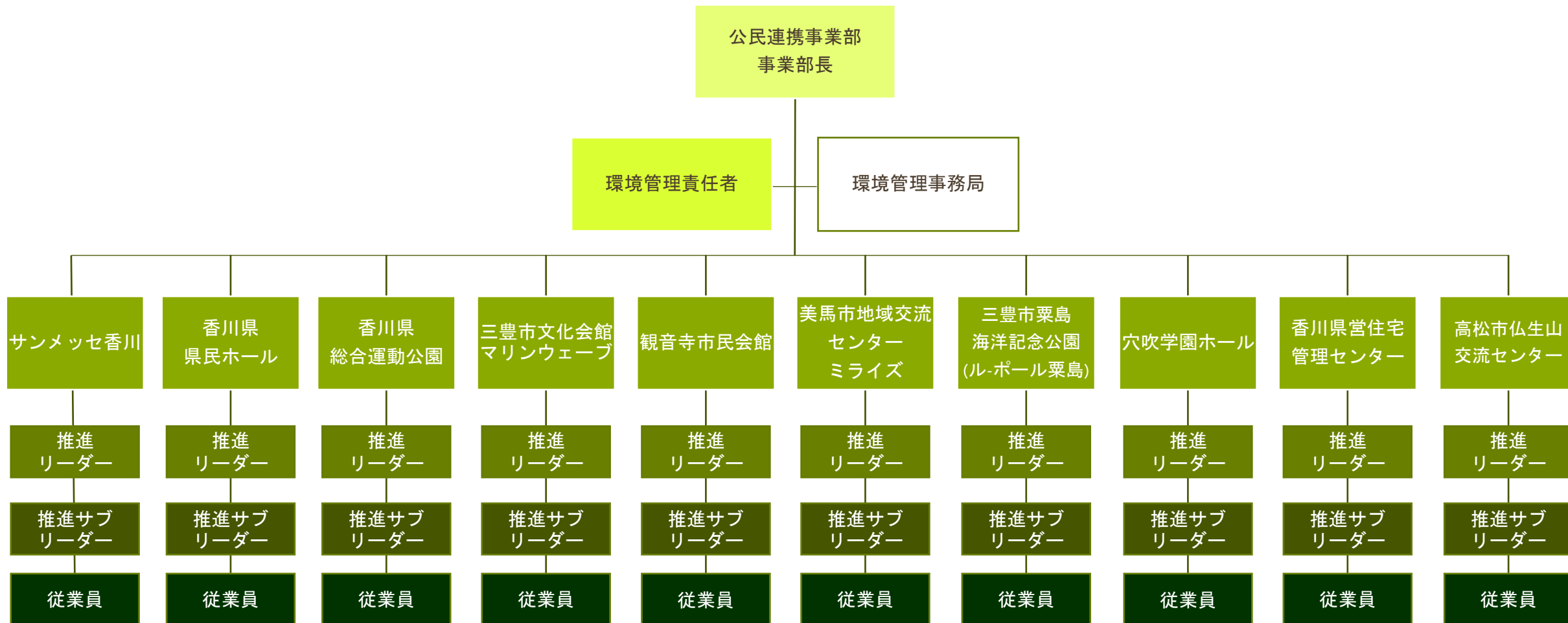
サンメッセ香川、香川県県民ホール、香川県総合運動公園、


三豊市文化会館マリンウェーブ、観音寺市民会館

美馬市地域交流センターミライズ、三豊市栗島海洋記念公園（ル・ポール栗島）

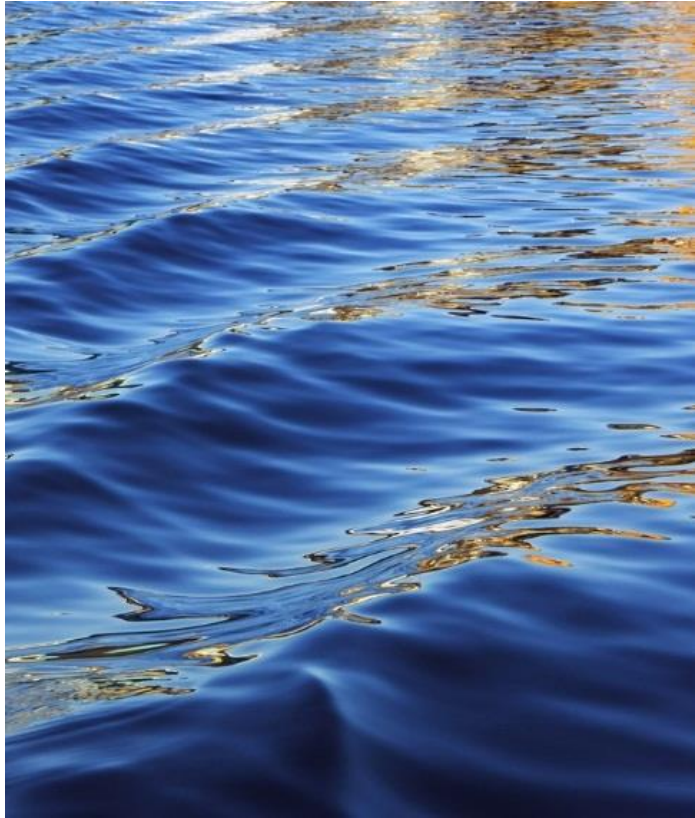
穴吹学園ホール、香川県営住宅管理センター、高松市仏生山交流センター

# ISO14001 実施体制 (2023年3月現在)





# 各施設 環境活動報告



# 1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



## ■ 施設紹介

香川インテリジェントパーク内にある、県内最大の総合コンベンション施設です。

大小2つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。

大規模なイベント、見本市、展示会から小人数の会議・勉強会まで幅広くご利用頂いております。

## ■ 所在地

香川県高松市林町2217-1

## ■ 施設規模

敷地面積：37.426㎡

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	1,362,788	322,393	○	-1,040,396

### 【実績値評価 要因】

2022年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・エコドライブの判定装置を一部課員の車両へ取付1週間程度エコドライブを実施し、日々の運転のエコドライブを推進
- ・毎月のサンメッセ会議で会場準備や確認の際、不要な電気は使わないように呼びかけ

# 1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- ゴミ袋の大幅削減を達成  
※前年833袋/今年567袋→前年度比 ▲266袋
- エコキャップ回収の結果  
143,620個を回収し、CO2を445kg削減  
※前年度比・・・回収：+79,528個、  
CO2削減：+25kg
- 100%ペーパーレス会議を継続。
- 洗面台の吐水量を適度に調整し節水を継続。



エコキャップ

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

#### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・電気、水道、ガスの使用量を毎月確認し、省エネ活動の振り返りを行う。
- ・ゴミ拾いアプリ「ピリカ」のインストール率100%と活動参加の周知を徹底

#### ■ お客様への啓蒙活動

- ・エコキャップ回収の呼びかけを実施。
- ・「クールビズ・ウォームビズ」の呼びかけを実施。

# 1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



## ③SDGsの取組

2 飢餓を  
ゼロに



7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



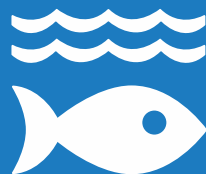
12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



14 海の豊かさを  
守ろう



15 陸の豊かさも  
守ろう



### ○取組目標

①「わたしのSDGs」活動を推進。

### SDGs 具体的な取組み結果

昨年度の各課員の活動を参考に、目標項目を追加、引き続き取り組みを推進。

<私のSDGs>



# 1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



## ③SDGsの取組

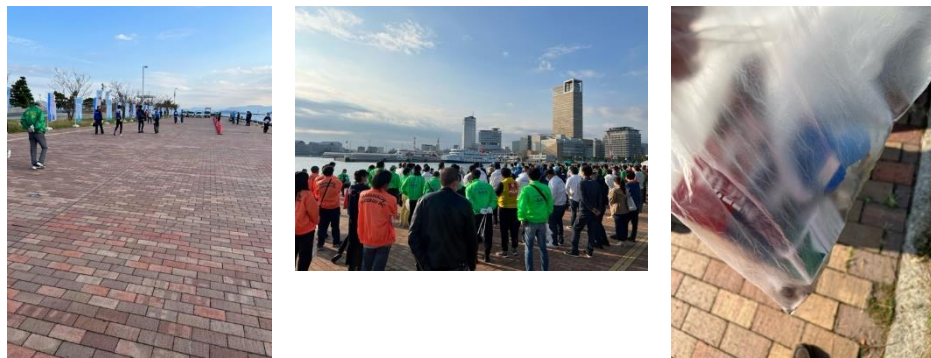


### ○取組目標

- ① 社外の環境活動への参加
- ② ごみ拾いSNS「ピリカ」の会員登録及び活動参加

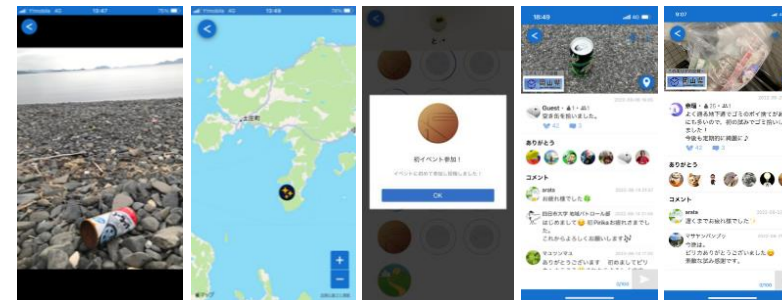
### SDGs 具体的な取組み結果

①地域のエコ活動「香川インテリジェントパーク一斉清掃」に参加、また、昨年に引き続き県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬ☆キラ」へ参加（今年は1名参加）



県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬ☆キラ」

②ごみ拾いアプリ「ピリカ」の利用を日々呼びかけ、楽しみながらエコ活動を実施。新たな活動として毎月16日を「エコの日」に設定、周辺のごみ拾い&ピリカ投稿を1～2名で実施。



アプリ SNS「ピリカ」

# 1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



#### ■ 定量的な取組

- ① 電気使用量の削減（Co2削減）

#### ■ 定性的な取組（SDGs目標）

- ⑭「海の豊かさを守ろう」
- ⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」  
→社外の環境活動への参加
- ⑪「住み続けられるまちづくりを」  
→ごみ拾いSNS「ピリカ」会員登録及び1回以上の参加
- ④「質の高い教育をみんなに」  
→毎月の会議の際に、他社や各団体のSDGs活動の共有
- ① 飢餓をゼロに
- ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
- ⑫ つくる責任、つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさも守ろう  
→「わたしのSDGs」活動の推進

## 2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



### ■ 施設紹介

香川県県民ホールは、大ホール2001席、小ホール807席を中心とした香川県最大級の本格的な芸術文化ホールです。

国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ、県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議等に幅広く利用されています。

### ■ 所在地

香川県高松市玉藻町9番10号

### ■ 施設規模

敷地面積：11,240㎡

### ①今年度の実績評価

#### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	6,457,473	1,637,360	○	-4,820,113

#### 【実績値評価 要因】

2022年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。  
蓄熱システムの設備を修繕し、夜間電力を積極的に活用。

#### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・施設の利用終了後には速やかに点検に行き、照明および空調の電源をすぐに切り節電。
- ・その日の天候・気温などに応じて不要な照明・空調を省き、節電の実施。
- ・スタッフが日々館内巡回をし、トイレの蛇口の締め忘れや不要部分の空調の電源をチェック。
- ・事務所内にて毎年ウォームビズ、クールビズを実施。

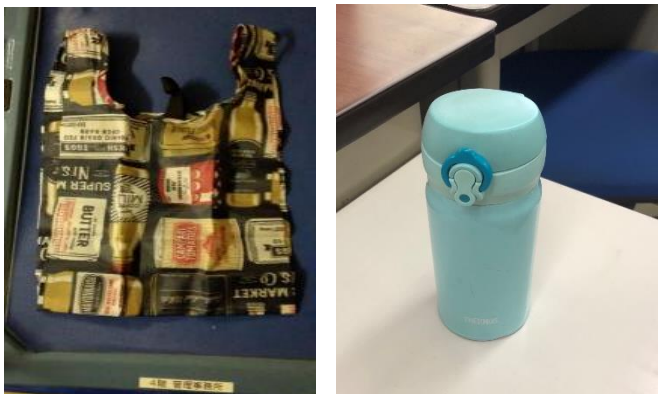
## 2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）

### ②環境低減への取組

#### 環境活動実績及びその評価

- スタッフ全員参加の環境についてのミーティングを実践。
- SDG s の目標や、海に関する質問・海洋問題などをゲーム感覚で学ぶためにカルタやすごろくを活用。
- マイバック・マイボトルの持参促進活動を実施。



マイバック・マイボトル持参

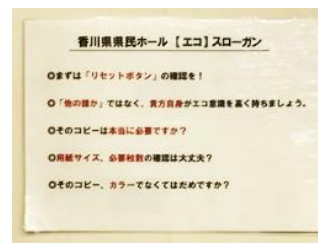
#### スタッフ・お客様への啓蒙活動

##### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・毎月、休館日に行っている全体ミーティングで環境チームがテーマを決めて全員に発表し、環境問題やSDG s に関する知識向上。
- ・毎月、休館日に県民ホール周辺の清掃活動を実施。
- ・不要な照明の消灯確認を呼びかけ。
- ・事務所の各所にエコの注意喚起ポスターを掲示。

##### ■ お客様への啓蒙活動

- ・施設内のトイレに節電・節水・紙の節約を呼びかける掲示。
- ・ゴミを回収する場合は、ゴミ袋（回収費用込）を購入いただき、分別の徹底を依頼。
- ・会場利用者との打合せ時に照明・空調・エスカレーターを稼働させる時間を確認し、最低限の稼働とする。



注意喚起ポスター



節減推奨掲示



## 2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



### ③SDGsの取組



○取組目標  
瀬戸内海の島でSDGsを体験する「粟島丸ごとSDGs！」への参加。



○取組目標  
清掃・建物維持管理会社と協力し、セーフガードラベルを継続取得

#### SDG s 具体的な取組み結果

「粟島丸ごとSDGs！」にスタッフが参加。  
ミーティングにて内容を共有。



海ごみ清掃▶

#### SDG s 具体的な取組み結果

清掃会社・建物維持管理会社と協力し、感染症対策としてセーフガードラベルを継続して取得。



セーフガードラベル▶

## 2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



### ③SDGsの取組



### ○取組目標

#### ①森林保全及び海洋保全活動の推進

#### SDGs 具体的な取組み結果

- ①目標へ向け以下の取り組みを実施、引き続き継続して行う。
- ・全体ミーティング時の敷地周辺清掃
  - ・周辺海岸の海ごみ回収運動
  - ・ミーティングにて、森林保全活動と海洋保全活動の関連性をスタッフへ共有
  - ・レストランでは、地元の間伐材を使用した割り箸への切り替えや、ストローを紙などの環境配慮製品へ切り替え

## 2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



### ④次年度の取組目標

#### 次年度の取組について

**3** すべての人に  
健康と福祉を



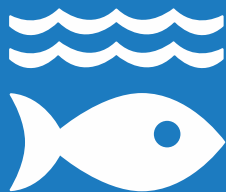
**11** 住み続けられる  
まちづくりを



**12** つくる責任  
つかう責任



**14** 海の豊かさを  
守ろう



**15** 陸の豊かさも  
守ろう



**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう



#### ■ 定量的な取組

①電気使用量の削減（Co2削減）

#### ■ 定性的な取組（SDG s 目標）

③すべての人に健康と福祉を  
⑩パートナーシップで目標を達成しよう

→香川県障がい者文化・芸術支援センター様と協力して、  
文化芸術活動を実施する。

⑪住み続けられるまちづくりを

⑫つかう責任、つくる責任

⑭海の豊かさを守ろう

⑮陸の豊かさも守ろう

→割り箸やストローの環境配慮製品への切り替えや3010運動  
（残さず食べて食品ロスをなくす）の推奨。月1回の県民ホール  
スタッフ全体での環境活動を継続。  
館内の設備や消耗品になるべく環境に配慮したもの導入する。

# 3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



## ■施設紹介

22,000席を誇る香川県最大の県営野球場を中心に、サッカー・ラグビー場、テニスコート、相撲場、多目的広場等を備えた総合運動公園です。

ウェディングや犬の運動会、スイーツマラソンなどスポーツ競技以外の取組も実施しています。

## ■所在地

香川県高松市生島町614

## ■施設規模

敷地面積：30.9ha

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	440,058	178,265	○	-261,794

### 【実績値評価 要因】

- ・2022年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。
- ・2021年度の実績値と比較し、CO2排出量を削減できた。

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・緑のカーテンを実施し、電力量削減。
- ・園内巡回時に軽自動車の使用を控え、自転車での巡回を実施。



■緑のカーテン



# 3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- 電気使用料の削減  
2022年度 336,9841Kw h 前年比 105.1%
- 総排水量の削減  
2022年度 14,717m<sup>3</sup> 前年比 98.6%  
→植栽およびグラウンド管理上、大半が天候要因による。
- 県営及び県営第2サッカー・ラグビー場、園内植栽の散水に中水・井戸水を使用、園内のトイレに中水を使用。



井戸水での植栽管理

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

- スタッフへの啓蒙活動
  - ・毎月施設協力会者含む月例会議や日々の朝礼等において、施設全体の環境活動に関する意識向上。
  - ・香川県総合運動公園周辺の清掃活動を実施。
- お客様への啓蒙活動
  - ・クールビズ、ウォームビズを呼び掛け。
  - ・施設内のトイレに節電・節水を呼び掛ける掲示



香川県総合運動公園周辺清掃活動

# 3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



## ③SDGsの取組

<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう 
--	--	---

### ○取組目標

- ① 廃材・不使用備品を有効活用する。
- ② 環境配慮型の維持管理による園内自然環境保全

### SDGs 具体的な取組み結果

① 植栽維持管理業務に伴う剪定で発生した枝葉を粉砕処理し、チップ化して植え込みに敷均。また、園内各施設毎に古紙回収を実施。

② 殺菌剤の散布をなくし、環境に配慮した土壌処理剤及び微生物資材を使用し、土壌健全化の促進に取り組む。



剪定枝チップ化

# 3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



## ③SDGsの取組

<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p> 
--	--

**○取組目標**

① 下笠居コミュニティセンター主催の「クリーン作戦」に参加。

### SDGs 具体的な取組み結果

① 11月10日の地域の清掃活動に併せ、スタッフ17人公演周辺の清掃活動を実施。

② 5月18日の地域の清掃活動に併せ、スタッフ17人公演周辺の清掃活動を実施。



# 3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



#### ■ 定量的な取組

- ① 電気使用量の削減（Co2削減）

#### ■ 定性的な取組（SDGs 目標）

##### ④ 質の高い教育をみんなに

→参加型ラベル樹木名を設置し、クイズラリーを実施する。

##### ⑪ 住み続けられるまちづくりを

→古紙回収

→再生チップを使用した腐葉土を香川県総合運動公園内の花壇や植栽、緑のカーテンで使用。

##### ⑪ パートナーシップで目標を達成しよう

→下笠居コミュニティセンターが主催する「クリーン作戦」に参加する。

##### ⑭ 海の豊かさを守ろう

##### ⑮ 陸の豊かさを守ろう

→サッカー・ラグビー場の低農薬の維持管理の実施

# 4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



## ■ 施設紹介

数々の感動的な公演の舞台となってきた770席のマーガレットホールをはじめ、会議室や調理室など多目的にご利用いただける各種スペースを完備しております。

カルチャー教室なども実施し、幅広い世代に利用される施設です。

## ■ 所在地

香川県三豊市詫間町詫間1338-127

## ■ 施設規模

敷地面積：10,219.62㎡（駐車場含む）

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	561,290	175,120	○	-386,169

### 【実績値評価 要因】

- ・2022年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・電気使用量のデマンド管理
- ・事務所前にグリーンカーテンを設置、室内温度の上昇を抑制。
- ・毎月の月例会議において電気使用量の認識を行い、日々の節制に繋げる。



# 4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- エコキャップ回収の継続。
- イベントチラシの再利用（児童クラブに提供。）
- 夏休みのイベントで『新聞エコバック』を実施。
- 敷地内の落ち葉拾いを行い、畑の肥料として再利用可能な地域住民にお渡し。



チラシの再利用



落ち葉拾い

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

#### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・施設利用後の空調・電気消灯をチェック
- ・ミーティングでの環境マネジメント関連知識の共有
- ・コピー削減のための利用枚数のチェック

#### ■ お客様への啓蒙活動

- ・クールビズ、ウォームビズポスター掲示
- ・エコキャップ回収運動への協力依頼

# 4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



## ③SDGsの取組



### ○取組目標

- ①館外の清掃を、課員で取り組む。
- ②児童クラブの屋外活動の一環として、海浜清掃を通じたエコ教育。

### SDGs 具体的な取組み結果

①ミーティング後のタイミングで、3か月に1度課員全員で施設周辺の清掃を実施。



②児童クラブ屋外活動として、子どもたちと栗島の海岸で貝殻やシーグラス・海ゴミ拾いを行うことで、遊びながらも教育に繋がる取り組みを実施。



# 4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



## ③SDGsの取組

<b>4</b> 質の高い教育を みんなに 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 	<b>17</b> パートナシップで 目標を達成しよう 
------------------------------	------------------------------	------------------------------------

**○取組目標**

- ①フードロス対策への関心を高めるイベントの開催
- ②自律分散で繋がり合う地域を目指す。

### SDGs 具体的な取組み結果

①フードロス対策を考慮した『フードレスキュー隊』のクッキングイベントを開催。地元スーパーさんの協力で、賞味期限の近い食材を提供頂き、地域の方と一緒にSDGSを考える機会を創出。

②繋がり合う地域社会を目指すため、環境省発行の〈新時代の地域づくりハンドブック〉の三豊市SDGsパートナーシップに選定された項目を再確認。町内の一斉清掃などへの積極参加を推進。





# 4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



#### ■ 定量的な取組

- ① 電気使用量の削減（Co2削減）
- ② エコキャップ回収活動
- ③ 事務用品のグリーン購入促進

#### ■ 定性的な取組（SDGs 目標）

- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑭ 海の豊かさを守ろう

→環境保全やSDGsを考えるきっかけとなるイベントや児童クラブの活動を実施

- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう
- ⑮ 陸の豊かさも守ろう

→まちづくり推進隊の活動に参加、館外清掃等への積極参加を推進。

# 5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



## ■ 施設紹介

音を観るまち“文化芸術クリエイションホールをめざして”を基本理念に生まれ変わりました。

西讃地区最大の収容人員1,200席を誇る大ホールを中心に音楽に適した334席の小ホール、展示会など様々な利用できる多目的ホール等を完備しております。

## ■ 所在地

香川県観音寺市観音寺町甲1186番地2

## ■ 施設規模

敷地面積：19,369.33㎡（公共駐車場、計画前面道路除）

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	437,218	270,957	○	-166,261

### 【実績値評価 要因】

- ・施設稼働率は前年比10%上昇したが、省エネ意識の向上による行動改変によりCO2排出量と電気使用量削減目標を達成。

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・空調の効率化のため、工場扇を各所に設置。
- ・電気使用料のデマンド管理
- ・裏紙の再利用（裏紙をメモ用紙として利用）。



工場扇

# 5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- 2021年度のホール稼働率は45.3%、会議室稼働率は48.4%で、どちらも前年比10%上昇となったが、CO2排出量と電気使用量削減目標をともに達成。
- 不用品・リサイクル品等の整理を実施
- レンタサイクル案内促進（POPなども作成掲示）  
ヘルメットの無料貸し出しも開始。

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

#### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・施設利用後事務所にて各施設利用がない箇所で電気消灯チェック。
- ・全体の電気使用料はデマンド抑制。去年の最大値を基準に設定。
- ・館内ミーティングにて課員の意識向上のためSDG s や省エネなどの勉強会を実施。

#### ■ お客様への啓蒙活動

- ・お客様のゴミ分別がスムーズに行えるよう「分別表」を作成、ゴミ袋と一緒に配布。
- ・クルービズ、ウォームビズポスター掲示案内



ゴミの「分別表」▶

# 5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



## ③SDGsの取組



### ○取組目標

- ①バリアフリー公演及び観音寺市内高等学校芸術鑑賞会の実施
- ②地域振興イベントへの積極的協力

### SDGs 具体的な取組み結果

①「東京演劇集団 風」が企画するバリアフリー演劇を実施。音声ガイド、手話通訳があり、誰でも観ることのできる演劇を観音寺にて実施。  
「影向舎」が企画する落語「紙工劇と落語」を観音寺市内の高等学校2校の芸術鑑賞会にて実施。

②瀬戸内国際芸術祭2022において、観音寺総合高校とのパンフレット合同制作や、観音寺市観光協会とアートイベント「よるしるべ」を共催するなど、積極的協力を行なった。



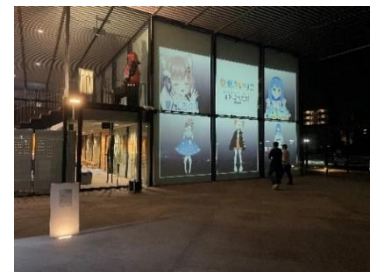
<バリアフリー公演>



<高等学校芸術鑑賞会>



<館内での芸術祭関連動画放映>



<よるしるべ>

# 5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



## ③SDGsの取組

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

### ○取組目標

- ① ごみ拾いSNS「ピリカ」の会員登録及び活動参加
- ② 関係団体と協力した地域の清掃活動に参加する。

### SDGs 具体的な取組み結果

① ゴミ拾いSNS「ピリカ」を課員全員が登録、館外清掃活動へ参加し、その内容を投稿。



アプリ SNS「ピリカ」

② 観音寺市民会館クリーン隊2022を発足。今年は清掃範囲を会館周辺とし、清掃活動を行い、地域住民との交流を行う。



館外周辺を中心とした清掃活動

# 5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



#### ■ 定量的な取組

- ① 電気使用量の削減（Co2削減）
- ② 事務用品のグリーン購入促進

#### ■ 定性的な取組（SDG s 目標）

- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑰ パートナースhipで目標を達成しよう

→ 観音寺を盛り上げ隊や観音寺市地域おこし協力隊員と連携し、観音寺市及び観音寺市民会館の賑わいづくりに貢献。

#### ⑭ 海の豊かさを守ろう

→ 香川県主催「県内一斉海ごみクリーン作戦 さぬ☆キラ」清掃活動への参加。

#### ⑮ 陸の豊かさも守ろう

→ 観音寺市民会館クリーン隊2022を発足。今年は清掃範囲を会館周辺とし、清掃活動を行い地域住民との交流を図る。

# 6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



## ■ 施設紹介

吹き抜け空間を活用した501席のホールや市立図書館、小規模保育所や市民サービスセンターなどを併設しております。

人が集い交流する拠点としての複合施設です。

## ■ 所在地

徳島県美馬市脇町大字猪尻字西分116-1

## ■ 施設規模

延べ床面積：23,256㎡（駐車場合含む）

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> /人	-	-	-	-

※電気使用量は美馬市管轄のため、CO2排出量のデータは無し

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・エコプラザの利用に伴うプラごみ・ペットボトルごみの削減
- ・クールビズ及びウォームビズの実施を徹底
- ・オデオン座にて、設備の更新に伴う消費電力の削減

# 6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- 施設から徒歩圏内に住んでいるスタッフが月1回以上徒歩通勤を実施
- 各課員の家庭でのエコ活動を継続、エコ会議にて共有を行う

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

#### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・徒歩通勤可能圏内のスタッフへエコ通勤を呼びかけ、実施。
- ・美馬市立図書館主催の「海のぷらゴミはどこから来る！？ワークショップ」に参加
- ・買い物時のエコバッグ利用。
- ・事務所会議にて、環境マネジメントマニュアルの読み合わせ

#### ■ お客様への啓蒙活動

- ・敷地内で回収した落葉再利用を推奨。
- ・西側広場にコキアを設置、利用者への緑の活動啓蒙を行う
- ・憩いのハコに胡蝶蘭を植える
- ・クールビズ・ウォームビズの呼びかけ。
- ・エアコンの温度設定の管理。

<緑の活動・落葉再利用> ▶





# 6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



## ③SDGsの取組

11 住み続けられる  
まちづくりを



15 陸の豊かさも  
守ろう



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



### ○取組目標

①地域の清掃活動に参加する。

## SDGs 具体的な取組み結果

①市道側の草抜き作業の実施や、美馬市主催の穴吹川河川敷清掃活動に参加。



# 6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について

**4** 質の高い教育を  
みんなに

**14** 海の豊かさを  
守ろう

**11** 住み続けられる  
まちづくりを

**17** パートナーシップで  
目標を達成しよう

**15** 陸の豊かさも  
守ろう

#### ■ 定量的な取組（Co2削減）

- ① ノーマイカーデー 1回/月

#### ■ 定性的な取組（SDGs 目標）

##### ④ 質の高い教育をみんなに

→ スタッフ個人個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発する。

##### ⑭ 海の豊かさを守ろう

→ 海ゴミ研修などに参加する。

##### ⑪ 住み続けられるまちづくりを

→ 施設前の河川敷の清掃活動を定期的に行う。  
近隣住民への声かけも実施、地域活動として清掃を行う。

##### ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう

→ 美馬観光ビューローをはじめとした地域の企業・団体と協力して賑わいづくりを行う。

# 7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



## ■ 施設紹介

ル・ポール栗島、キャビン、栗島少年自然の家、浮棧橋から構成されます。

その中でもル・ポール栗島は、宿泊施設やレストラン、宴会場などが集合する栗島のレジャー拠点になります。

## ■ 所在地

香川県三豊市詫間町栗島1418-2

## ■ 施設規模

延べ床面積：1471.24㎡

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> /人	92,745	48,819	○	-43,926

### 【実績値評価 要因】

・2022年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・ロビー内の冷房・暖房はレストラン営業開始の30分前から使用し、無駄な空調エネルギー削減。
- ・レンタカー事業としてグリーンスローモビリティを活用し、島内来訪者への利用を促進し、有害ガスの排出を抑える。



# 7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- エコキャップ回収を実施。
- トイレの照明を感知式に切り替え。未使用の際には照明がオフとなり、電気使用量を削減。



トイレの感知式照明

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

#### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・会議の際にSDGsの勉強会を月1回実施。
- ・スタッフが利用する箸を、再生利用可能なものへ切り替え。
- ・新入社員研修にて、デジタルデトックス研修を実施

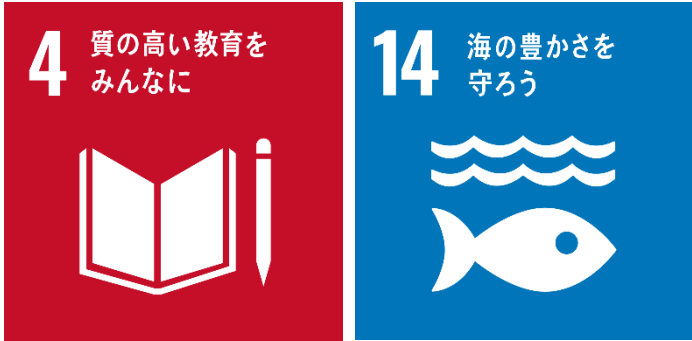
#### ■ お客様への啓蒙活動

- ・「節電アクション」の呼び掛けを実施。
- ・必要のない空調しようの抑制を啓蒙。
- ・海へのゴミ流入防止の呼びかけ（イベント時）

# 7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



## ③SDGsの取組



### ○取組目標

- ①「海ほたる」を通じて海洋環境保全を啓発する。
- ②海洋環境保全に関する教育の実施

### SDGs 具体的な取組み結果

① 海洋資源の豊かさの指標でもある「海ほたる」を通じて、施設を訪れる観光客に対して環境問題を啓蒙した。「海ほたる」が砂地の海底に生息することから、海ごみ（主にマイクロプラスチック）による汚染を防ぐことが重要であることなどを伝えた。



海ほたる

②海ごみが漂流しやすい栗島の環境を生かし、環境課題体験型宿泊プランを造成、小学生の参加時に、清掃活動を通じて海ごみ問題を知ってもらう機会を創出。



# 7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



## ③SDGsの取組

**11** 住み続けられるまちづくりを

**17** パートナーシップで目標を達成しよう

### ○取組目標

- ①地域で実施する海・山の一斉清掃への参加。
- ②清掃活動を通して海洋環境保全に関する社員教育を実施する。

### SDGs 具体的な取組み結果

①月一回程度で参加。城ノ山清掃活動では、登山道の整備を行うことで木々の状態を保ち、「緑のダム」としての機能保全にも取り組んだ。



②香川県民ホールのスタッフと合同で海洋ごみ環境学習を栗島にて実施。課題の現状を把握、認識を深める機会となった。



# 7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



## ④次年度の取組目標

### 次年度の取組について



#### ■ 定量的な取組

①電気使用量の削減 (Co2削減)

#### ■ 定性的な取組 (SDG s 目標)

④質の高い教育をみんなに

⑭海の豊かさを守ろう

→地域の皆様で実施する海・山の清掃活動への積極参加。

→栗島で毎年開催されるモモチ祭りの片付け参加

→実際に海ごみが漂着しやすい栗島での、体験型宿泊

プランを小学生の宿泊学習時に清掃活動を通して啓発。

⑰パートナーシップで目標を達成しよう

⑪住み続けられるまちづくりを

→環境を生かした海洋ごみ環境学習の合同実施

⑮陸の豊かさも守ろう

→GMSレンタカー、島内来訪者の利用促進を図る。

※GSM グリーンスローモビリティ

# 8) 穴吹学園ホール

2019年4月から学校法人穴吹学園より運営受託



## ■ 施設紹介

学校法人穴吹学園が2021年4月に開学したせとうち観光専門職短期大学校内にある511席の劇場。本格的な音響、照明設備を備えており、コンサートや発表会、講演会など様々な催しに利用できる施設です。

## ■ 所在地

香川県高松市屋島西町2366-1

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価		
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> /人	-	-	-

※電気使用量は穴吹学園管轄のため、CO2排出量のデータは無し

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・ホール利用者の退出後速やかに空調を切るなどを徹底。
- ・照明のこまめな消灯や光量調整を実施。



# 8) 穴吹学園ホール

2019年4月から学校法人穴吹学園より運営受託

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- ホール、会議室利用者の退出後など、速やかに消灯や空調を切るなどを徹底し、電気使用量を削減。
- 事務用品のグリーン購入促進

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

- **スタッフへの啓蒙活動**
  - ・クールビズ・ウォームビズの推奨。
  - ・スタッフ個人個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓蒙。
  - ・穴吹学園と協力し清掃活動及び植樹活動を実施。
- **お客様への啓蒙活動**
  - ・年3回SDGs映画祭を開催、海洋環境問題についての映画をはじめ、SDGsに関連した作品を上映。

# 8) 穴吹学園ホール

2019年4月から学校法人穴吹学園より運営受託



## ③SDGsの取組

<b>4</b> 質の高い教育を みんなに 	<b>17</b> パートナーシップで 目標を達成しよう 
---	--

### ○取組目標

- ①穴吹学園と協力した、地域の団体等の発表機会を提供と賑わいづくり。SDGsについての普及イベントを実施する。

## SDGs 具体的な取組み結果

①2022年5月15日、7月9日（土）、11月12日（土）にSDGs映画祭を開催。海の環境問題についての映画をはじめ、SDGsに関連した作品をホール上映。

鑑賞客へは、防災備蓄食の廃棄を防ぐために、消費期限が1年を切った長期保存パンを配布した。



<SDGs映画祭>

# 8) 穴吹学園ホール

2019年4月から学校法人穴吹学園より運営受託



## ③SDGsの取組

<b>4</b> 質の高い教育を みんなに 	<b>11</b> 住み続けられる まちづくりを 	<b>14</b> 海の豊かさを 守ろう 
------------------------------	---------------------------------	-----------------------------

### ○取組目標

- ①穴吹学園と協力し建物周辺の清掃活動を行う。
- ②スタッフ個人で環境活動に取組み、それを共有・啓発する。

### SDG s 具体的な取組み結果

香川県環境森林部環境管理課主催のグリーン活動「第8回県内一斉海ごみグリーン作戦『さぬ☆キラ』」に、穴吹学園と共同で参加。

建物周辺の清掃や海ゴミ回収をおこなった。



# 8) 穴吹学園ホール

2019年4月から学校法人穴吹学園より運営受託



## ④次年度の取組目標

### 次年度の取組について



### 【事業部としてのSDG s 取組強化】

- ④質の高い教育をみんなに  
→SDG s イベント情報・実施サポート。  
スタッフ個人個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発。
- ⑭海の豊かさを守ろう  
→香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦  
「さめキラ」への参加。
- ⑪住み続けられるまちづくりを
- ⑰パートナーシップで目標を達成しよう  
→穴吹学園と協力し清掃活動及び植樹活動を実施。

# 9) 高松市仏生山交流センター

開業：2022年（2022年3月から指定管理者として運営）



## ■ 施設紹介

高松市仏生山地区に位置する「にぎわいの創出やコミュニティの交流促進の拠点」となる施設です。

イベントスペース、会議室、調理室、屋外広場をご用意しております。

新たな交流・賑わいの拠点として、市民のみなさまが自由に利用できる場所です。

## ■ 所在地

香川県高松市仏生山町甲218番地1

## ■ 施設規模

敷地面積： 3,021,19㎡

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> /人	-	65,904	-	-

### 【実績値評価 要因】

・2022年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。

※2022年3月から管理運営開始のため、目標値及び実績値比較評価はなし

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・貸会議室では冷暖房の消し忘れがないよう、利用状況の表を作成し、マグネットを活用し分かりやすく管理。
- ・事務所では冷暖房の設定温度を随時確認し、クールビズ・ウォームビズの設定で対応。

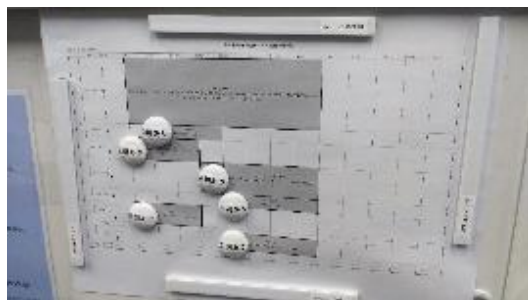
# 9) 高松市仏生山交流センター

開業：2022年（2022年3月から指定管理者として運営）

## ②環境低減への取組

### 環境活動実績及びその評価

- 貸会議室では冷暖房の消し忘れがないよう、利用状況の表を作成し、視認性を高める。
- 事務所では冷暖房の設定温度を随時確認し、クールビズ・ウォームビズの設定で対応
- 事務用品のグリーン購入促進。



<貸会議室利用状況表>

### スタッフ・お客様への啓蒙活動

#### ■ スタッフへの啓蒙活動

- ・毎月のミーティング時に他企業のSDGs取組やエコ活動についての報告と啓蒙を行う。
- ・マイボトルの利用普及
- ・エコ検定（環境社会検定）の受験（2名合格）

#### ■ お客様への啓蒙活動

- ・SDGs映画祭を開催（年3回）
- ・3月の第一次取水制限を受け、節水のポップを作成し啓蒙
- ・調理室利用のお客様に、油は流さないこと、お皿についた油はペーパーで拭き取ってから洗うことを周知。



<節水啓蒙POP>



<SDGs映画祭>

# 9) 高松市仏生山交流センター

開業：2022年（2022年3月から指定管理者として運営）



## ③SDGsの取組



### ○取組目標

- ①海ごみ研修への参加
- ②スタッフ個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発する。地域の清掃活動への参加。

### SDGs 具体的な取組み結果

①1月23日にかがわ里海大学のオーダー講座を受講。受講内容をスタッフMTGで報告・周知を行なった。

②毎月第一日曜日に実施される地域の清掃活動へ参加。また、10月31日、香川県環境森林部環境管理課主催のクリーン活動「第9回県内一斉海ごみクリーン作戦『さぬ☆キラ』」に参加。建物周辺や駅前公園の清掃を行なった。



# 9) 高松市仏生山交流センター

開業：2022年（2022年3月から指定管理者として運営）



## ③SDGsの取組

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 
<b>12</b> つくる責任 つかう責任 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 

### ○取組目標

- ①フードドライブ活動の実施
- ②地域団体と協働でのイベント等の開催と賑わいづくり

### SDGs 具体的な取組み結果

①3月26日～4月2日の期間でフードドライブ活動を実施し、社会福祉協議会等を通じて食品の寄付を行なった。



②仏生山地区のコミュニティ協議会や仏生山まちプランニングなど、地域団体と一体となってイベント等の開催を行い、地域の賑わいづくりに貢献。



# 9) 高松市仏生山交流センター



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



### 【事業部としてのSDG s 取組強化】

- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを  
→スタッフ個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発する。  
地域の清掃活動に参加する。  
環境に配慮したカルチャー講座を実施する。
- ⑭ 海の豊かさを守ろう  
→海ごみ研修や清掃活動への参加
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう  
→仏生山地区のコミュニティ協議会、仏生山まちプランニングなどの  
地域の団体と、イベントを開催し、地域の賑わいづくりに貢献する。

# 10) 香川県営住宅管理センター

2021年4月からあなぶき公営住宅コンソーシアムの構成企業



## ■ 施設紹介

県内420棟、6,336戸ある県営住宅で、あなぶき公営住宅コンソーシアムとしてあぶきハウジンググループの管理実績と当社の指定管理者事業のノウハウで運営しています。

## ■ 所在地

香川県高松市番町四丁目1番10号 県庁東館7階

## ①今年度の実績評価

### 省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> /人	-	-	-	-

※電気使用量は香川県管轄のため、CO2排出量のデータは無し

### 省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

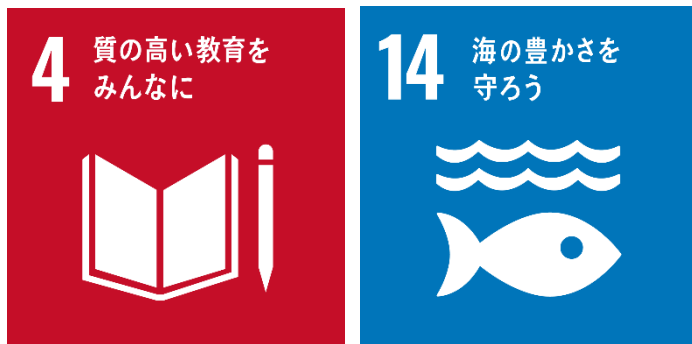
香川県庁舎内に事務所があるため、CO2排出削減の活動は無し。

# 10) 香川県営住宅管理センター

2021年4月からあなぶき公営住宅コンソーシアムの構成企業



## ③SDGsの取組



### ○取組目標

- ①環境に関する勉強会の実施やエコ検定受験の推進
- ②海ごみ研修等への参加

### SDGs 具体的な取組み結果

①ISO14001やSDGs活動等環境に関する勉強会等を実施。  
また、エコ検定の受験を推進し、2名が合格。

②1月23日にかがわ里海大学のオーダー講座にスタッフ2名が参加。また、5月28日の「森と海のつながり体験講座」には6名が参加。



eco検定合格証



＜森と海のつながり体験講座＞▶

# 10) 香川県営住宅管理センター

2021年4月からあなぶき公営住宅コンソーシアムの構成企業



## ③SDGsの取組



**○取組目標**

- ①地域の清掃活動への参加
- ②県営住宅各自治会等と連携した環境配慮への啓蒙活動の実施。

### SDG s 具体的な取組み結果

① 11月4日、香川県環境森林部環境管理課主催のクリーン活動「第9回県内一斉海ごみクリーン作戦『さぬ☆キラ』」に2名参加。県営住宅周辺清掃を行なった。

② 県営住宅各自治会等と連携し、各団地への第3次取水制限に伴う節水依頼やごみ出しに関する注意喚起や生活騒音の注意喚起等行なった。



<節水啓発チラシ>>



# 10) 香川県営住宅管理センター



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



### 【事業部としてのSDG s 取組強化】

- ④ 質の高い教育をみんなに  
→かがわ里海大学講座に参加する。
- ⑭ 海の豊かさを守ろう  
→海ごみ清掃活動に参加する。
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう  
→地域の清掃活動に参加する。  
→県営住宅各自治会と連携し、環境配慮への啓発活動を実施。

# 11) 業務推進室 SDGs の取組



## ○取組目標

- ①SDGs イベント情報、実施サポート。
- ②里海大学との連携による海洋環境保全活動。
- ③香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に事業部単位で参加する。

## SDGs 具体的な取組み結果

- ①地域や社会の課題解決に関する学びや活動【ESD】を支援・推進する地域ESD活動推進拠点に登録。
- ②かがわ里海オーダー講座「かがわの里海学習ツール「SATO-UMI・1000を学ぶ」開催。
- ③県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に各施設で参加し、広報を実施。

# 11) 業務推進室 SDGs の取組成果

## 【 かがわの里海学習ツール「SATO-UMI・1000」を学ぶ】

開講日時 2023年1月23日（月） 10:00～12:00 12名受講

《受講アンケートより》

・「SATO-UMI・1000」を通して、行動カードやうっかりカードの内容をグループ内で話し合い、共感したり他施設の取り組みに気づきを得たりして有意義な学びの時間を過ごすことができた。日常でのあるあるが知らないうちに海の汚染に繋がっていることや、逆に簡単なことで環境改善への貢献ができることを理解した。ゲーム形式の研修は、子どもにも大人にも印象的かつ効率的な学びになると感じた。

・カードゲームを通じて、理想と現状の把握が出来た。「うっかりカード」に書かれていることが、つい行ってしまうことがあり日頃の行動の反省にも繋がりました。

・「里海を守っていく」ということが決して身構えるものではなく、“毎日どこか”で“何気なく”触れられるものなんだということ。移動ひとつ、買い物ひとつ、ほっとする時間ひとつ…ちょっとした意識や心がけで里海に関わることができるということに気づけた。「海カード」の理想と現実の記述があまりにもスケールの大きなお話で、突きつけられる現実に驚いたり悲しくなったりした。

・施設としては、清掃活動が続けることと、今回の研修の内容を周知してスタッフみんなですれぞれ自分のできることを考えるようにしたいです。

海洋環境保護について、カードゲームを使って楽しみながら学ぶ機会となった。  
各施設の代表者が受講し、施設に持ち帰り水平展開して継続実施。



# 11) 業務推進室



## ④ 次年度の取組目標

### 次年度の取組について



### 【事業部としてのSDGs 取組強化】

- ④ 質の高い教育をみんなに  
→地域ESD活動推進拠点として、三豊市粟島を拠点としたESD活動を実施する。
- ⑭ 海の豊かさを守ろう  
→里海大学との連携による海洋環境保全活動。
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう  
→各施設SDGs 地域貢献サポート。  
→香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦「さめキウ」に事業部単位で参加。





# 環境マネジメント レポート

あなぶきエンタープライズ 公民連携（PPP）事業部  
活動期間 2022年4月～2023年3月

